

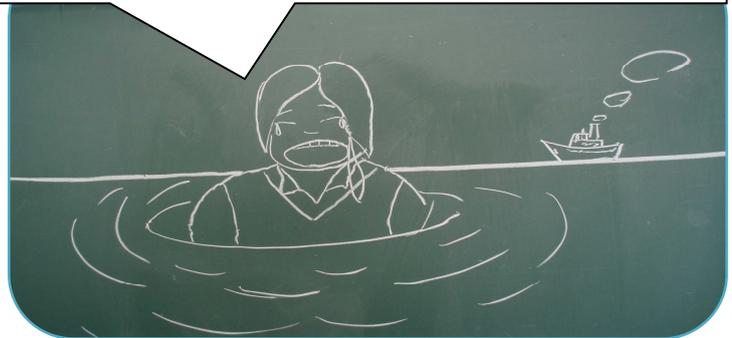
児童の実態

発表したい時に指名されなかったり、諸活動で失敗したりすると突然泣き出して、パニックに陥り、短い時間で1時間、長いとほぼ半日泣き続けていた。(泣き疲れて寝ることもあった。)

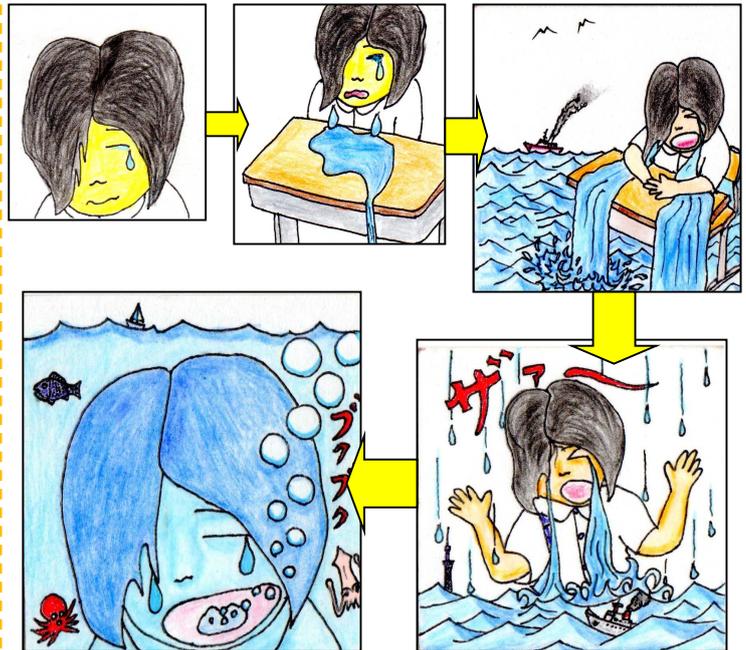
☆手立て

- 泣いている理由を聞いたたり泣き止ませようとしたりせず、全く関係のないことを話し掛けたり、情報提供したりすることにより、気分を早く変えさせる。

泣いている様子をオーバーに黒板に描いて見せたところ、「そんなわけないよ。」と自らこちらに話し掛け始め、立ち直りのきっかけになった。



- 泣いている様子を描いた絵は、本児が落ち着いている時に見せても面白かったので、この絵を利用し、泣き出してからパニックを起こすまでの自己モニタリングカードを作成した。これを落ち着いている時に本児に提示することにより、自分の感情や行動を抑制する意識付けにした。その結果、パニックの回数が減り始め、全く泣かない日もできた。



支援を受けてみて

- このカードを見ておくと約束（泣かない）を思い出す（忘れない）のでよかったです。(本人)